

## 英語の文法指導・学習について

本講演者のこれまでの研究成果から  
言えそうなこと

**関西英語教育学会 (KELES)**  
**第39回KELESセミナー**  
 2016年12月24日 (土) 14:40-16:00  
 龍谷大学大阪梅田キャンパス  
**白畑知彦 (静岡大学)**  
 shirahata.tomohiko@shizuoka.ac.jp

## 今日の内容

1. 第二言語習得理論について
2. 本講演者の信じる仮説、主張、実験結果
3. それらを踏まえた上での、具体的な教え方への提案

## 英文法の指導、英語の指導

教える相手が違えば、  
いつも同じ教え方というわけにはいかない

どこで教えるのか	教室で? 日本で? アメリカで?
誰に教えるのか	小学生? 中学生? Immigrants?
どのくらい	週1? 週3? 毎日?
何が目的か	日常会話に困らないようになるため? 4技能をバランスよく? 読めるようになること中心?

## 英文法の学習 と 英単語の学習

- 日本の英語教育の最終目的ではないが、ことばを使用するための大事な土台である
- 土台がしっかりしていれば、建物は崩れない 
- 文法・語彙の教え方が課題なのであって、両者を身につけていかなければ、言語の習得は不可能
- 英文が読めない、書けない、聞けない、話せない

第二言語習得理論に基づけば  
○○○ のことが言える

&img alt="Illustration of a man with glasses speaking at a podium." data-bbox="412 698 468 738"/>  
 と言う人がいますが・・・

- アプローチは沢山あり、決して一枚岩ではない
- 「第二言語習得理論」と銘打っている「理論」が、いっぱい
- 共通部分もありますが、各「理論」によって考え方が異なる
- どのアプローチからの提案なのか、明確にしないとイケない

## 私が後ろ盾にしている理論・考え

- 「言語理論に基づく第二言語習得研究」
- ヒトという種には、言語 (の核となる文法) を習得できる生得的機構 (Universal Grammar) が脳内に備わっている
- 「刺激の貧困」がある。つまり、インプット・データは不十分なのに、母語の文法を完全に獲得できる
- そして、UGは、第二言語習得の際にも機能する

母語獲得 第二言語習得 外国語学習 L3

- どのような学習形態になろうが、  
脳が言語を処理していることには変わらない  
基本的には同じように処理される筈である
- 我々の脳はとても賢いから、  
「そんなに変なことほしくない」  
つまり、テキストに覚えていくのではなく、  
とても体系的に言語習得が行われるはずである



6

### L2習得の5つの特徴 と言われるもの

- L1 transfer 母語からの転移
- Staged development 発達段階
- Systematicity 体系的性
- Variability 可変性
- Incompleteness 不完全性

(Towell and Hawkins, 1994: 5)

7

### ではなぜ、不完全性が起こるか？

- UGは機能するが、その働きを阻害するものがある  
UGが機能しにくくなっている

**要因:** 不十分なインプット量、L2とは異なるL1での特性、  
一般認知能力、運動神経、リズム感や聴覚の衰え、など

- 一方で、L1の知識や一般認知能力がプラスに働く場合もある  
L1と比較し、理屈で理解できる
- UGとは関連なく、臨界期(感受期 sensitive period)はおそらくあるだろうが、複数の感受期があるのでは？

**例:** イントネーション、各分節音、形態素、統語、意味

8

### 明示的指導についての私の考え方

- 肯定証拠が役に立つのは当然  
だが、万能ではないが、**否定証拠**も役に立つ場合がある
- 少なくとも、習得の第一歩として、  
「気づき」や「理解」を深めるのに役立ちそう
- 明示的に学習した文法知識は、その後の練習により、  
ほぼ瞬時的に使用できる知識(**自動化した言語知識**)  
になり得る場合が多い
- ただし、明示的な知識・メタ言語的な知識が、脳内から  
「なくなる」わけではない。それは**いつまでも存在する**

9

### 白畑の考える 明示的指導の役割モデル

Kondo & Shirahata (2015, P99より引用)



10

### 明示的指導が**効果的な**項目の特徴

白畑(2015)



1. 規則の内部構造が**単純**な項目
2. **語彙的**の意味の伝達が主となる項目
3. 日本語(母語)に同じか、  
類似した概念・構造が**存在する**項目
4. 今までに十分に**教えられてこなかった**項目

11

### 明示的指導の**効果が低い**項目の特徴 白畑 (2015)



1. 規則の内部構造が**複雑**な項目
2. **文法的**機能の伝達が主となる項目
3. 日本語(母語)に同じか、類似した概念・構造が**存在しない**項目
4. その規則について既に**十分な知識**を持っている項目

12

### 明示的**文法指導**が効果を発揮する**学習者側**の条件

- 教師の説明が理解できなければならない
- 当該文法項目の規則が受け入れられる段階にまで、英語の習熟度が到達している
- 小学生 < 中学生 < 高校生 < 大学生・社会人



- 小学生や中学生には、できる限り文法用語の使用を抑える方法で明示的指導をおこなない、実際に使用する場面に即して、沢山練習していく方法が良い

13

### 文法形態素や機能範疇

- 役割は、文法的な意味の伝達。こういった項目には:
  - ✓ 習得順序がある
  - ✓ 発達の道筋がある
  - ✓ 外部からの刺激(明示的指導)で、その順序を変更しにくい(または、できない)

⇒ **英語力を全体的に向上するしかない**

14

### 日本の教室での英語学習への応用

- **インプット仮説:**  
確かにインプットは必要不可欠であるが、インプット量を増やすとしても、暗示的に言語規則をピックアップできるまで増やすことは無理だろう
- **アウトプット仮説:**  
言語使用を増やすには、有効な方法であろう
- **インタラクション仮説:**  
教師が一人という状況を、緩和してくれるだろう

15

- **Focus on Form:**
  - 考え方は賛成。  
だが recasting など、上手くできないのでは?
  - Grammatical morpheme の error には 比較的やりやすいが、global errorには?
  - 果たして効果があるかどうか  
(つまり、recastingが直接、習得に結びつくかどうか)?
- **気づき仮説:**
  - 学習者に言語形式を気づかせることは良い方法  
だが気づかせるだけではだめで、その後の練習が必要
- **協同学習:**
  - 教室環境ではとても大事

16

### 以上の前提を踏まえて

- どのような指導が、どのような項目に効果的となり得るか?
- お金がかからずに、誰にでも実践できる学習法はないだろうか?
- 時間の限られた中で、有効に学習できる方法はないだろうか?

... を考えてみましょう

17

### まず、すごく基本的なこととして

- 声に出して英文や英単語を読む
- ペア活動、グループ活動を増やす
- 自宅学習(宿題)は「復習を中心」「書く活動」

18

### 英文を声に出す活動

- 言語は音声が必要であることを、早い時期から分かってもらいたい
- 自分の発音を気にかけられるようになる
- スピーキング活動、リスニング活動、英文を前から理解して行く訓練ができる。



19

### ペア活動・グループ活動

- 相棒となるクラスメートがいるということ
- 英語教育では、相手がいなければできない活動がたくさんある
- 教師が一人だという欠点を補ってくれる
- 教えることで知識が定着する



20

### ペア活動の例

Sunshine English Course 3, P17

M: You look happy. Good news?  
L: I've just received a letter from my friend Taro. We've been good friends for more than three years.  
M: Where does he live? He doesn't live near here, right?  
L: No, he doesn't. He used to live near my house, but his father now works in Kagoshima. ...

(Program 2, Section 1)

21

### 時間を決めて、声に出して

- 前のスライド
  - 2人がペアになる(生徒AとB)
  - 例1:AがBに日本語訳を口頭で言う。Bはそれを英文に直してBに言う。Bが躓いていたらAは支援する。最後までいったら、役割を交代する。
- その他:
  - ライティングの宿題(友人同士が感想を言い合う)
  - 単語の学習(問題を出し合う)

22

### 自宅学習

- 「予習」ではなく、「復習」を中心とした宿題を
- 繰り返し復習して、少しずつ定着を深める
- 単語も文法事項も、これまでに学習してきたことを、何度も復習できるような宿題に
- 一人でもできるライティングは宿題に。辞書の使用可。
- ライティングは、生徒の好きなテーマで書かせることも、本当に伝えたいことを先生に書くということで、大事(コミュニケーション活動)



23

### 教師側の心得

確認していただきたいこと  
特に、教師になりたての皆さんへ



24

### ことば(英語)は 教科書に出てくる順番に 必ずしも覚えて(習得して)いく わけではない

- 実際の習得難易度は、教科書の文法配列とは異なっている
- 教科書は、頻度が高いものや、コミュニケーション活動がしやすい(と執筆陣が考えている)順番に、文法が配列されている
- それはそれでよい



25

- 教えたらずぐに覚える/使えるようになる項目と、そうではない項目がある
- 「簡単」に見える文法項目が、必ずしも簡単ではない

例: 冠詞、名詞複数形、三単現-s、時制

中学1年生の教科書に出てきますが・・・



26

### 教える際の心得

- 学習者の誤りに寛容になるべし!
- 1つの文法項目に固執するべからず!
- 英語学習を、長い目で見守ってあげよう

27

### 禁止事項

- 完全に覚えてから次の項目の説明に移る
- 全員が理解してから、練習(タスク活動)に移る

——といったことは、しない方がよい

28

### 禁止事項:

#### このような宿題はやめましょう

- 「現在完了形を使った文を3つ作ってきなさい」
- 「同じ単語を、ノートに10回どおり書いてきなさい」
- 「本文をすべて日本語訳して、ノートに書いてきなさい」
- 教えもしないで、機械的な単語テストを早朝に繰り返す

29

文法用語で誤魔化すのではなく、その文法項目の持つ、本質的な機能の理解を促したい

**例: to不定詞**

- 名詞的用法・形容詞的用法・副詞的用法があるが、この用語の使用は後回しで
- 使用するなら、「不定詞」「定詞」の説明が必要
- 前の部分をより詳しく説明する働きがあることを、気づきを交えながら指導
  - I want (to)
  - Ken told me (to)
  - Hanako has something (to)

30

形式だけでなく、その表わす意味をしっかりと教えたい

たとえば: **現在完了形 仮定法**



31

以上の考察を踏まえ、項目の特徴別に教え方・考え方を工夫したい

1. あっさり教えて、タスク活動の時間を長く取る項目
2. 比較的時間をかけて、概念から教える項目
3. 一見容易に見えるも、誤りを続けており、温かい目で見守る項目
4. 本当に難しく、誤っても気にしない項目

——など、色々と分けて対処すべきです

32

明示的に指導する際の1つの工夫として

- 教科書や参考書には、「このようにいう」という例文が書かれている ⇒ 「肯定証拠の利用」
- 教科書には、肯定証拠しか載っていない
- 「このようには言わない」「言うてはいけない」という証拠 (否定証拠) を、もっと利用しては?
- 「日本人がよく間違ってしまう言い方」を例示してもよいのでは?



33

よく間違える誤りを指摘する = **否定証拠**を与える英文例

- \*My family is five (people).
- \*The bird was appeared from the box.
- \*The train is stopping at the station.
- \*Skytree is high more than Tokyo Tower.
- \*The meeting begins from nine o'clock.
- I was at home yesterday. \*Because it was raining.



34

**元々誤りが少なく、誤っても一時的**であるため、 明示的指導に時間をかけなくてもよい項目

- a. 語順(主要部の位置)
- b. 代名詞の格変化 (I-my-me, you-your you, etc)
- c. 進行形のING
- d. 主語とbe動詞の(人称・数の)一致 (I am/You are/He is)
- e. 主語の非脱落
- f. wh疑問文でのwh語の位置(文頭)

35

**有意味文脈の中で  
繰り返し練習するのが  
良さそうな文法項目** 

- a. 一般動詞の過去形
- b. 比較表現 (中学校で学習する範囲)
- c. 可算名詞の複数形 (-s)
- d. 接続詞
- e. 関係代名詞節 (who, which)
- f. 受動態
- g. 属格 ('s)
- h. Do挿入

36

(日本語と比較しながら)  
その意味・構造を教えると  
効果がありそうな項目 

- a. 主語と話題の相違
- b. 自動詞と他動詞の相違
- c. 時制・相 (現在完了形を含む)
- d. 分詞の形容詞的用法
- e. 関係代名詞節
- f. 被害受け身 (間接受動文)
- g. 代名詞
- h. 義務的な項構造

37

説明が足りなかったために  
誤りをしていた／習得が遅かった項目 

- a. 接続詞
- b. 独立所有格
- c. 類似した意味を持つ語彙の用法  
(must/have to, will/be going to)
- d. 自動詞・他動詞の区別
- e. 無生物主語

38

規則そのものは簡単であるが、  
指導をしても  
長期間誤りが続いてしまう項目 

- a. 三人称単数現在形 -s
- b. 不定冠詞 a/an
- c. 一般動詞の過去形 (特に規則過去形)
- d. wh疑問文での助動詞 do/does/did
- e. 代名詞の過少使用

39

日本語母語話者にとって  
比較的習得が困難な文法項目 

- a. 三人称単数現在形-s
- b. 進行形や受動態のbe助動詞
- c. 不規則比較表現 (高校以降に学習する範囲)
- d. 仮定法
- e. 法助動詞の用法

40

日本語母語話者にとって  
非常に習得が困難な文法項目 

- a. 冠詞
- b. 不可算名詞の複数形
- c. 前置詞
- d. 時制と相、特に現在完了形、現在完了進行形
- e. 比較表現 (高校以降に学習する範囲)

41

表わす**概念**そのものを  
**じっくり指導**すべき項目 

- 時制・相(現在／過去完了形)
- 仮定法
- 冠詞
- 前置詞
- 分詞構文

42

 **語彙の学習**  
筆者の提案する英単語学習法

- 英単語の発音をCD等で聞き、次に声に出して発音し、意味を覚えよう
- 市販の単語集を使用するなら、小説を読むように、どんどん次のページに進んで行こう
- 復習が大事。何度も復習しよう
- 毎日30分間は、単語の勉強をしよう
- ひとまず、最もよく使う日本語訳を1つ覚えよう

43

**語彙の学習(続き)**

- 派生語や類義語を有効活用しよう
- 英単語を正確に書けるようになることを、急ぐ必要はない
- できれば、簡単な意味を表す英文の中で覚えよう
- 単語の品詞は必ず覚えよう
- 「他動詞」か「自動詞」か、必ず確認しよう

44

**語彙の学習(続き)**

こんな沢山は無理だ！  という人は、

**提案 1 と 2 だけでも実行しよう**

- 英単語の発音をCD等で聞き、次に声に出して発音し、意味を覚えよう
- 市販の単語集を使用するなら、小説を読むように、どんどん次のページに進んで行こう



45

**ご清聴**  
**ありがとうございました!**  
**Happy Holiday!**

46